

NCS テレマティクスサービス

日本カーソリューションズ、NTTドコモのFOMA通信ネットワークを活用した
NCSテレマティクスサービス「ドライブドクター」を提供開始します

※「ドライブドクター」は、日本カーソリューションズ株式会社の登録商標として出願中です。

2010年2月1日からサービス受付開始

日本カーソリューションズ株式会社(所在地:東京都港区、代表取締役社長:植村 賢)は、NTTドコモのFOMA通信機能とGPS機能を備えたドライブレコーダーをリース契約車両に搭載することで、走行中の運行データ(走行距離・走行時間・速度・危険運転情報・緯度経度情報など)を自動的に取得できる、NCSテレマティクスサービス『ドライブドクター』を開発し、2月1日よりサービスを開始します。

このサービスは通信機能を備えることで、車両データが自動的にNCSデータセンターに蓄積され、これによりリース車両の運行状況や運転者の安全運転状況がWebで容易に閲覧可能となります。また取得したデータの活用により、車両の利用状況等を「見える化」し、適正な車両配備の推進を提言します。

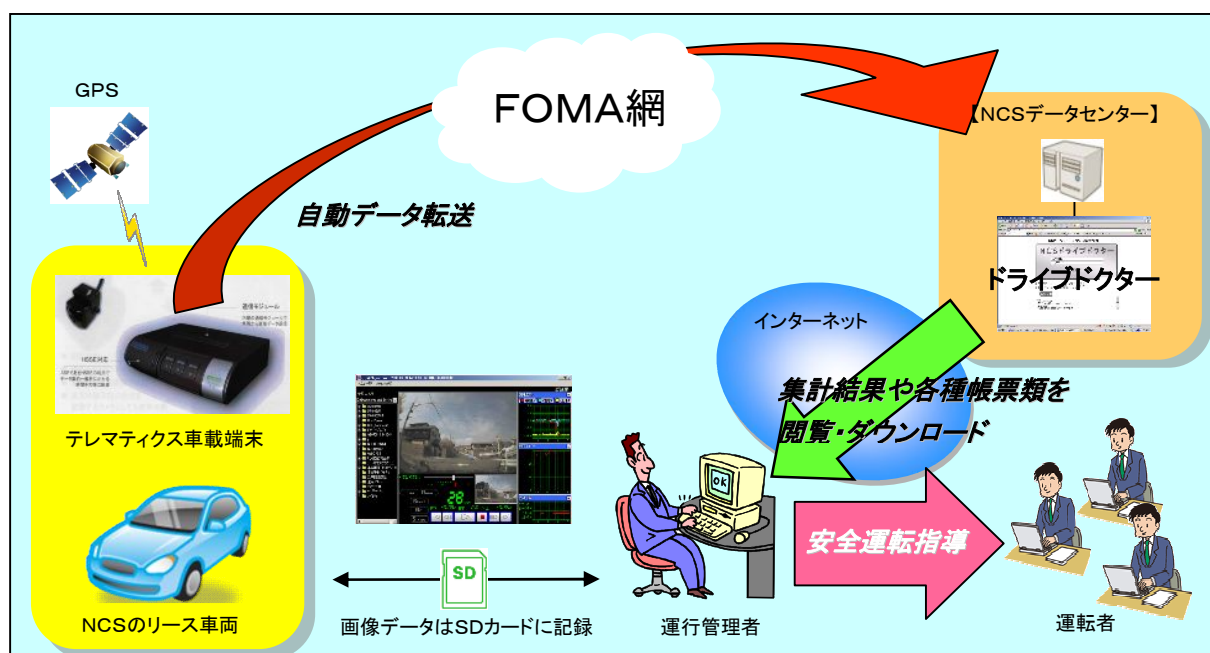
本サービスの利用により、従来、手間のかかっていた運転日報の作成が自動化されるとともに、事故発生時の状況が映像(動画)で記録できることから、事故直前～事後における詳細の検証が可能となります。また運転者の意識を改善することで、エコドライブの促進、燃費改善(CO2削減)の効果が見込まれます。

今後、サービス内容を拡充していくことで、3万台の導入を目指します。

<役割>

- 株式会社NTTドコモ : FOMA通信モジュール、FOMA通信ネットワークの提供
- 株式会社堀場製作所 : FOMA通信モジュール内蔵のドライブレコーダーの製造
- 株式会社ホリバアイテック : データ連携環境の構築

ドライブドクターのご利用イメージ



「ドライブドクター」のサービス概要

■主な機能

【サービス側】

- 1) 車両の運行・運転状況データの自動転送機能
 - ・運転者に手間をかけることなく、自動で運行・運転状況データが転送されます。
- 2) 車両管理や安全運転指導に役立てられる各種グラフや日報等の帳票の自動作成機能
[作成される帳票類]
 - ア. 車両単位の月間報告書(運行データを月次集計した帳票)
 - イ. 運転日誌
 - ウ. 運転者ごとの安全運転帳票(安全運転日報・月報)
 - エ. 運転者の得点一覧表
 - オ. 統計グラフ(グループ、部署、運転者別の平均得点グラフや危険運転件数グラフ)
- 3) 危険運転地点の表示
 - ・危険運転した地点を地図上で確認することができます。
- 4) 車両の予約機能(2010年3月末機能追加予定)
 - ・運転者は車両予約が可能となり、管理者はその運行状況を確認することができます。

【車載機側】

- 1) 事故・ヒヤリハット画像の自動記録
 - ・危険運転をしたときの状況を映像として自動でSDカードに記録します。
 - ・記録された映像データは、事故分析だけでなく、KYT(危険予知トレーニング)活動や安全運転講習会で活用することができます。
- 2) 警告音での危険通知
 - ・危険運転、速度超過、アイドリング経過した場合に、テレマティクス車載端末から警告音が鳴ります。

■期待される効果

①車両の運行管理

自動作成される運転日誌や月間報告書から、運行状況の把握が容易になります。また運行データ・車両保有台数・使用状況などを分析することにより、車両の効率的配備、適切な更改計画の策定など合理的な車両管理が可能となります。

②交通事故の防止(社員の安全運転意識の向上)

事故現場や・ヒヤリハット画像を安全運転講習会で活用することで、運転者の安全運転意識の向上が可能となります。

③安全運転の促進

運転者の運転特性を安全運転帳票から分析することで、安全運転指導が可能となります。

④経費削減・環境への貢献

急発進・急停止などをしないエコドライブ実施により燃費が向上し、経費節減や地球温暖化防止に繋がります。

本資料の内容に関するお問い合わせ先

日本カーソリューションズ株式会社

ソリューション推進部 島田・富田

TEL 03-6436-1790

ホームページ URL <http://www.ncsol.co.jp/>